

松溪先生所立有
 駢字類編

山
石
上
石

乃為
口內

高畠藍泉用箋

[illegible]

二
リ
カ
エ

高

山
口
村

一

[illegible]

蓋し此通有書寫之海より来る者ありて
 名付種々の味も有るに類して其種を
 以て蓋し以て字し言はば海産の也職念くは信
 其社新の種なき有る皆所件素に信し
 麻里多(実心)再戦連勝して返す之急
 之語合何んや人の信もするは初来と云
 金と枯田有信を新と右低因別成証書
 証書と云ふは是と云ふ初を信用力と云
 大立引くことと云ふを別て下さいは第
 知り部便為替らん事と云ふは是と云ふ名
 之如く調子と云ふは是と云ふは迷惑なり
 証書と云ふは是と云ふは是と云ふは他
 証書と云ふは是と云ふは是と云ふは他
 伏る第、之と云ふは是と云ふは是と云ふは他

二、リ、カ、エ

高品

山、リ、林

一、カ、リ

市、川、も、日、曜、も、い、ふ、事、は、て、い、ふ、事、新、し、く、
 外、係、は、信、重、く、有、る、思、ふ、事、は、一、に、信、ず、り、以、て、
 信、ず、り、以、て、信、ず、り、以、て、信、ず、り、以、て、信、ず、り、以、て、



高品監泉用箋

三、リ、カ、リ

高品監泉用箋

外、係、は、信、重、く、有、る、思、ふ、事、は、一、に、信、ず、り、以、て、